

サッカー全国大会優勝&大会MVP

京都サンガF.C.U-15
 信楽中学校 3年
 いのおたくみ
井ノ尾匠さん



信楽中学校3年の井ノ尾さんは京都サンガF.C.U-15に在籍していた昨年5月、中学生年代の日本一を争う「JFAプレミアカップ」で大会MVP（最優秀選手）とベストイレブンに選ばれる活躍でチームを優勝へと導きました。今回は、中学生年代を代表するゴールキーパーにお話を伺いました。

大会で印象深い試合はありますか？

準決勝の広島戦です。試合は同点のまま延長戦にもつれこみました。緊張感のある延長戦の中、ゴールに迫る相手のヘディングシュートを止めることが出来た場面が印象的です。

5試合で2失点。固い守備が目立ちましたね？

はい、選手全員が「絶対にゴールさせない」という気持ちを共有し、体を張ったディフェンスで相手にプレスをかけました。また、そうして奪ったボールから得点へとつながるシーンもありました。

GKというポジションへの思いとこれからの目標を教えてください。

ゴールキーパーは最後の砦で、強い精神力が求められるポジションです。だから、気合だけは誰にも負けないよう、プレーしています。

これから先もプロをめざして練習に励み、日本で誰もが知っているような選手になりたいです。さらにその先に、世界でも通用する実力を身につけたいと思います。



(C) KYOTO.P.S.



(C) KYOTO.P.S.

元気が まちがど



1 news 一堂に会した忍者料理に舌鼓

甲賀流忍者マーケット

甲賀流忍者マーケットが11月29日、JAグリーン花野栗市特設会場で開催され、約1000人の来場者で賑わいました。

この催しは、市の委託を受け観光事業等を企画する甲賀観光未来会議が市内にある飲食店の味を多くの方に知ってもらおうと初めて実施したもので、市内に店舗を持つ11の店がうどんやピザなどのオリジナル忍者料理を販売しました。

催しに訪れた家族連れは「いろんなお店の料理が楽しめてよかった」と一堂に会した忍者料理に舌鼓をうち、満足した様子でした。



▲多くの来場者で賑わうマーケット

2 news

粘りは強く、味わいは豊か
 自然薯集荷作業

甲賀町自然薯生産組合による自然薯集荷・梱包作業が12月4日、甲賀町小佐治の組合作業場で行われました。同組合は8軒の農家から成り、自然薯を甲賀町の特産品にしたいという思いで、20数年前より栽培し、出荷しています。今回出荷される自然薯は約1000本で、西田組合長は「猛暑の影響でやや細めの出来ですが、味は例年通り抜群です。おすすめの食べ方はとろろや天ぷらですね」と胸を張って紹介していました。



▼西田組合長が手に持つ、真っ直ぐに育った自然薯

3 news

手作り千支で新年を
 押絵の千支飾り講座

押絵の千支飾りを学ぶ講座が12月9日、希望ヶ丘防災コミュニティセンターで催され、7人の受講者が参加しました。

押絵は、綿を布地で包んで立体感を出し、厚紙や板に貼る細工です。この日は、講師の井藤美知さんが用意した「越ちりめん」で生綿を包み、新年の千支である申の押絵を作りました。

押絵に魅せられ、毎年熱心に受講される参加者は、「がんばって12年連続で参加して、千支をすべて作り上げた」と話していました。



▲色紙に貼られる千支の申

4 news 冬でもみんなで温かく

しがらき冬まつり

しがらき冬まつりが12月12日、信楽地域市民センター近くで催されました。

このイベントは今回で13回目となり、「夏の縁日をそのまま冬に」をコンセプトに据え、「楽しければ寒くても人は集う」を合言葉に催されました。屋台にはかき氷やヨーヨー釣りといった、夏の風物詩が並びました。

また、同会場ではしがらきイルミネーションが点灯期間中で、訪れた多くの人たちを楽しませました。

イルミネーションは、信楽駅から地域市民センター東側会場にかけて1月11日まで夜間点灯しています。ぜひお越しください。



▲色彩豊かに装飾された会場